

町長年頭あいさつ



鏡野町長
山崎 親男

あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

本町におきましては町制5年目を迎え、さらに町長の二期目にあたり皆様方の多くの御支持を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は行政にとっても大きな変革の年でありました、八月三十日に執行された衆議院議員選挙により国の政権担当政党も自民党を中心とした与党から民主党へ移行し、その政策の流れの中で、国民に見えなかった国家予算について、事業仕分け等々により鮮明に皆様方の目線で論じられ改革の一端を見せられた年でもありました。

また、アメリカに端を発したサブプライムローンによる世界同一不況、新型インフルエンザの大流行など暗い影も落としております。

そうした中ではありますが、天皇陛下御即位二十年と言う慶事を迎えられ、国民等しく祝意を表されたものと存じます。

本町におきましては、国の政策、財政あわせて政局を見定めながらではありますが、町民目線でかつ健全な町の在り方をしっかりと見定めて、次世代に認められる行政を進めてまいる所存であります。特に地域が地域性をより活かし、人が人を慈しみ生まれてきて良かったと感じられる、未来と希望にあふれたまちづくりに努めてまいります。

少子高齢化、農林水産業の活性化などを始め、行政全般に対する施策推進のための財源確保等、様々な問題が山積いたしておりますが、一つのテーマについて家族あるいは地域で共に考え決定していく、人と人との繋がりによるコミュニティ、そして共に学び助け合う共助、町民が町民のために、そして子供たちのために、自らが何をすべきか話し合い、施策を構築し、行動をおこすこれらによつて様々な問題の解決に繋がっていくものと信じております。

本年も、ぬくもりのある安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、町民の皆様と共に取り組んでまいりる所存でありますので、今後とも御理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様にとつて健康で幸多い年となりますよう、お祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成二十二年 元旦

議長年頭あいさつ



鏡野町議会議長
河田 紘

新年あけましておめでとうございます。

平成二十二年の年頭にあたり、町民の皆様方におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶びを申し上げますと共に、議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年4月議長就任以来、より身近な、開かれた議会の実現を念頭に置き、議会運営に努めてまいりました。初春を迎えて、鏡野町のより一層の発展のために引き続き努力をして参りたいと決意を新たにしております。

さて、昨年を振り返りますと、流行語大賞に「政権交代」が選ばれたことに象徴されますように、衆議院選挙において民主党が圧勝し、与野党が交代いたしました。9月に誕生した新政権においては、事業仕分けにより無駄の洗い出しを行い、国民視点での聖域なき抜本的見直しを決定しております。しかしながら、日本経済は円高の進展、デフレなど景気回復が遅れており、雇用情勢も益々悪化

しており、早急な対策が望まれるところであります。

この様な状況下ではございますが、本町の行財政改革実施計画は目標効果額達成率が計画を上回っており、財政の健全化へ効果が徐々にではありますが表れてまいりました。しかしながら財政運営は依然として厳しい状況にあります。また、少子高齢化への対応、産業の振興、中山間地の活性化などの課題も山積しております。

また、地方分権の進展に伴い、自治体の自主的決定と、責任の範囲が拡大しつつあり、議会は意思決定機関として、その持てる機能を駆使して、町が行う事務事業を検証する責務がございます。

まちづくりの主役は町民の皆様であることを第一に、住んでよかったと思える町づくりを実現するため、機を逸することのない議会運営に努めて参る所存でございますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう祈念申し上げます、年頭のごあいさつとさせていただきます。

平成二十二年 元旦